

こどもフェスティバル in SANO 2015 が開催



5月3日から5日まで、こどもフェスティバルが、佐野市堀米町のこどもの国で開催されました。

3日は子どもたちに人気の「手裏剣戦隊ニンニンジャーショー」が開催され、多くの方がショーを楽しみました。また、ハイスクールファッションショーや小山高専のロボコンショー、「わんぱくレク広場」が行われ、3日間にわたり多くの方が訪れました。

こどもの国では、いきいきした子どもを育てる事業を年間を通して展開しています。詳しくはこどもの国のホームページをご覧ください。

農村レストランで春祭りが開催



蓬山春祭りの様子

蓬山ログビレッジや根古屋森林公園、下彦間の憩い館や仙波の農林漁家高齢者センターなどで、4月末から5月初旬にかけて開催され、訪れた方は各農村レストランが提供するそばを楽しみました。各地区農村レストランでは、美味しいそばを提供しています。ぜひご賞味ください。

■問合せ＝

そば処なのはな(水曜定休) ☎(20)1188、
蓬山ログビレッジ(火曜定休) ☎(67)1139、
(下記の3館は土・日曜日、祝日のみの営業)
根古屋亭 ☎(66)2218、憩い館 ☎(65)0153
農林漁家高齢者センター ☎(86)2918

市民歩け歩け大会 が開催



4月29日、第11回市民歩け歩け大会が開催され、唐沢山頂を折り返し地点とする4コースで、総勢322人が参加しました。

唐沢山城跡三の丸では完歩のつどいが行われ、持参した昼食を笑顔でほおぼる参加者の姿が、あちらこちらで見られました。

ぜひ皆さんも緑豊かなコースを歩き、関東有数の山城といわれる唐沢山城跡の高石垣などを見てみてください。

本市で石井琢朗杯が開催 元プロ野球選手・石井琢朗さんの功績を顕彰



26チームが参加し、約750人の選手が集まりました



石井さんの現役時代の記念品が展示されました

5月17・23・24日の3日間にわたり「日本少年野球第2回石井琢朗杯選抜中学野球佐野大会」が佐野市運動公園などで開催されました。

大会の開催に際し、石井さんからは「この大会の選手の中から、プロ野球選手が生まれたら素晴らしいこと。今という時を大切に、一生懸命にプレーしてください」とのメッセージが送られました。





第1回「天命釜頭 彰茶会」が開催さ れる

佐野市の代表的な伝統文化である「天明鋳物」の中で特に有名な茶の湯の釜「天命釜」は、雅趣に富んだ素朴な味わいが高く評価され「西の芦屋・東の天命(明)」と称されて、安土桃山時代、全国にその名を馳せました。

郷土の財産「天命釜」を佐野市民はじめ、多くの人たちで顕彰しようという茶会が、一昨年その活動がユネスコ未来遺産に登録された天命鋳物伝承保存会(代表:若林洋一さん)の主催で5月10日に開催され、370人の方が参加しました。

会場となった「佐野厄除け大師・惣宗寺」は天明鋳物師ゆかりの寺で、境内に県指定文化財「佐野東照宮」が建立されており、本年は徳川家康没後400年にあたることで、時を同じくして大権現祭が執り行われました。

たくさんの参加者に見守られながら荒井宗佳さんの献茶奉仕と、茂呂朝花さんの献花で始まった厳かな茶会となりました。(市民記者・永倉文子)

姉妹都市・米国ランカスターから 中学生が来訪



5月12日から18日まで、姉妹都市・米国ランカスター市から15人の中学生(ほか引率3人)が佐野市を訪れました。

中学生たちは12日に日本に到着すると、勤労者会館でホームステイする家族と対面。翌13日には市役所を訪れたほか、田沼東中学校などを訪問し、中学生と触れ合いました。

また15日には文化会館で、日本文化体験として、茶道や華道に挑戦。未知の文化に戸惑いながらも、日本の文化を体験しました。



秋山地区での地域活性化の取り組み

過疎化が進む秋山地域では、この4月、地域の活性化に取り組もうと「あきやま有機農村未来塾」が立ち上がり、5月には初めての事業となる「手摘み・手もみのお茶づくり体験」が行われました。

15日から17日までの3日間の開催において、秋山地区の方を含め延べ約300人の方が参加し、体験には県外からも多くの方が参加しました。

また、15日には地元・氷室小学校の5・6年生の児童も茶摘みを体験し、地区の方々の指導を受けながら新芽を摘んでいました。

同塾では「手もみ茶」「地酒」「ヤマブドウワイン」の3つの事業に加え、ヒトとヒトとのつながりから地域を作る「コミュニティデザイン」を活動の柱とし、地域の活性化に取り組めます。

「お茶づくり体験」

